

令和5年度 外部評価シート

施設名	赤穂海浜公園	現指定管理期間	令和2年～令和6年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和2年～令和4年)

評価項目	評価
維持管理業務	<p>本公園は、西播磨地区のスポーツ・レクリエーション需要を担い、近隣の生活環境に潤いと安らぎを与える公園として県民に広く利用されている。</p> <p>テニスコートや大型木製遊具、オートキャンプ場など多種多様な施設が整備されており、子どもから大人まで楽しめる施設を有していることから、あらゆる利用者が快適かつ安全に利用できるように、施設や設備は常に清潔に保ち、また機能を正常に保持するために、適正な管理と保守点検を行うことが求められる。</p> <p>そのため、指定管理者は日常点検を確実に実施し、危険が予測される箇所等についてハザードの早期除去に努めている。また、植栽管理については、生育状況、イベントの時期や場所に合わせ効果的に剪定や芝刈りを実施するなどし、景観維持に努めている。清掃についても、繁忙期にトイレ清掃の回数を増やすなど、利用状況に合わせて柔軟に対応しており、公園利用者の安全と快適性の確保に努めている。</p> <p>公園利用者アンケートによると、「公園内の清掃(トイレ・園路・広場等)」「公園内の施設の整備および管理状態」「公園内の景観(植栽の手入れ等)」については、利用者から高い満足度を得ている。指定管理者がテニスコート整備や利用指導を丁寧に行った結果、コート利用者を対象としたアンケート調査の「テニスコート管理状況」の項目において、毎年満足度が向上している。</p>
運営業務	<p>本公園では人工湖でのカヤック体験教室や、人と自然の博物館や地域の自然団体等と連携した自然体験推進プログラムの実施、赤穂市と連携したハイキングやミニ観光案内コーナーの設置など、公園の特性や地域の歴史・文化・観光資源を活かしたイベント等が数多く開催されている。</p> <p>「わくわくフェスタ」は、春のゴールデンウィーク、秋の行楽シーズン、クリスマス、お正月等、季節毎に趣向を凝らしたプログラムを企画し、公園全体の利用促進に取り組んでいる。また、本公園は、マラソンやトライアスロン、テニス大会等のスポーツ大会の会場としても活用されており、指定管理者はこれらのイベントや大会の主催者と協力し、スムーズな運営ができるよう施設の利用調整や開催支援を行っている。さらに、管理運営協議会の提案をもとに、公園利用者がイベントやグループ活動を行う際の調整・支援をすることとしており、地域の大学やグループと連携し子育て世代支援イベント等が実施された。</p> <p>イベント参加者アンケートにおける「イベントの感想」では、「満足」「やや満足」と回答した割合が8割を超えており、高い満足度を示している。</p>
利用状況	<p>公募時に提案した目標年間来園者数(年間 54 万人)に対して、令和2年度は 33 万人、令和3年度は 49 万人、令和4年度は 40 万人であった。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、施設の閉鎖や大会の縮小・中止などがあつたことから低い水準となっている。令和3年度は、アスレチック遊具の更新や駐車場平日無料化の社会実験を実施したことから、前年度と比較して増加した。しかし、令和4年度は前年度から大幅に減少しており、動物ふれあい村の撤退や大観覧車の撤去などの影響がでていると考えられる。</p>
収支状況	<p>植物管理や施設修繕を直営化していることに加えて、夏の芝生への散水の効率化を図り、可能な限りの経費削減に努めている。</p>

運営体制	本公園は適正な人員配置を行うとともに、園内に意見箱を設置し、利用者からの苦情や要望に対して迅速丁寧に対応している。公園利用者アンケートによると、「職員のお客さまへのおもてなし」において高い満足度を得ており、職員の接客対応が評価できる。巡視マニュアルや定期点検マニュアル等に従い事故の未然防止に努めており、管理の不備による大きな事件・事故は発生していない。
その他	—

2 残りの指定期間における改善点

<p>「評価項目ごとの評価」を踏まえると、指定管理者は、利用者ニーズに即したイベント、有資格者の配置を行っており、利用者の満足度も高い。これらのことから、適切に業務を実施していると評価できる。</p> <p>指定管理者は、管理運営協議会の提案をもとに、公園利用者がイベントやグループ活動を行う際の調整・支援をすることとしており、地域の大学やグループと連携し子育て世代支援イベント等が実施されている。県では令和5年度よりこれらの活動の立ち上げや運営を支援するためのプラットフォームとしての「うみの会議」を実施している。今後、これらの活動の調整・支援を進めていくコーディネーターの役割が重要となるため、コーディネーターのスキルアップを期待する。</p> <p>また、利用者アンケート調査の結果、広報に関する満足度が他項目と比較して若干低くなっている。SNSを用いたリアルタイムの情報発信等に努めているが、本公園のホームページの施設の写真やデザインが更新されおらず、利用者に魅力的な内容となっていないと考えられる。今後のホームページの改善、充実を期待する。</p>

3 次期公募に向けた検討課題等

<p>県においては、管理運営協議会と連携した参画と協働のさらなる推進、ホームページのリニューアルやSNSの充実など利用者のニーズに合わせた情報発信、また、集客のための新たな施設を導入等の工夫による利用者増で利用者目標を達成することが重要課題となっていることに留意のうえ、今後の公募にあたっていただきたい。</p>
--

(参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
鷗木 千加子	甲南大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	